



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣
幹事 山下 喜一
SAA 富岡 幸広
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ TEL0246 - 62 - 3737

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2431 回 例会 平成 23 年 11 月 2 日 (水・晴)

2011 ~ 2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

米山記念奨学生 朱 美 善さん

会員卓話

矢代 昭雄 会員

◎会長報告 - 赤津善宣会長



皆さん、今日は。11月に入り暑い日、寒い日と寒暖の差が激しい時期ですので体調管理には十分注意して下さい。今日は、月の始めの例会ですので米山記念奨学生の朱美善さんがお見えになっています。後程今月の分の奨学金をお渡し致します。10月27日に50周年記念の事業として植田駅前モニュメント彫刻設置計画事業の件で吉野実行委員長、鈴木修一郎実行副委員長、会長赤津の3名でいわき市立美術館を訪問し事業概要を提出して正式にいわき市教育委員会へ申し入れを行いました。詳細については吉野実行委員長より説明があらうかと思ひます。宜しくお願いします。それから11月のプログラムが届いているかと思ひますが今日は会員卓話で矢代会員、9日はゲスト卓話、16日は50周年のリハーサルを実行委員会担当で行います。お忙しい時期だと思ひますが50周年が目の前に近づいて来ておりますので宜しくお願いします。11月30日はクラブ協議会で夜の例会になりますので間違いのないようにお願いします。それでは米山記念奨学生朱美善さん今月の奨学金をお渡し致しますので前の方へどうぞ。私からは



君が代

ロータリーの綱領

赤津 善宣 会長

— 今月はロータリー財団月間です —

以上です。

◎米山記念奨学生朱美善さん挨拶



皆さん、今日は。私は先月21日から31日まで姉が留学しているカナダのトロントに行つて来ました。北アメリカは初めてだったので序々にニューヨークへも行つて来ました。カナダもアメリカもいろいろな国の人が住んでいるので多様な文化を体験出来楽しく嬉しかったです。機会があればヨーロッパの国々へも行つてみたいです。今月20日にはクラブ創立50周年記念式典が予定されていて大きな行事に私も参加出来て大変嬉しく思ひます。楽しみにしています。ありがとうございました。

◎幹事報告 - 山下喜一幹事



- ・10月27日に50周年記念式典の参加者の最終確認をFAXしてありますが、今日締切りになっていますので宜しくお願いします。
- ・国際ロータリー年次大会がタイのバンコクで開かれます。2012年5月5日から9日まで開催です。案内が来ますので回覧します。
- ・いわき常磐ロータリークラブの11月プログラム、いわき小名浜ロータリークラブの11月プログラムと週報、いわき鹿島ロータリークラブの11月プログラム、北茨城ロータリークラブの週報を回覧中です。
- ・本日例会終了後理事会を開催致しますので理事者の皆さん宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。それと出席委員会からお知らせですが他クラブの例会に出席された方、地区の委員会やセミナーに出席された方には必ずメイクアップカードが出ますので忘れずにもらつて来て私へ提出をお願いします。



◇スマイルボックス委員会 - 嵐委員



- ・誕生祝いありがとうございます。荒川(義)、後藤各会員
- ・秋は食欲の秋、勉強の秋、読書の秋、ロータリーの友で今日はお勉強します。川中、富岡、峯口、押田、児玉、矢代、清水、金成、岩元、濱沖、関根、鈴木、荒川(清)各会員及び渡邊公平ガバナーノミニ、赤津会長、生駒副会長、山下幹事
- ・写真ありがとうございました。鈴木(修)、渡辺(勉)、後藤各会員及び渡邊公平ガバナーノミニ、高萩会長エレクト
- ・本日早退ごめんなさい。鈴木(雅)、猪俣各会員
- ・前回例会欠席ごめんなさい。

佐野、白土、斉藤、嵐各会員

◇親睦活動委員会 - 荒川義次小委員長

親睦活動委員会より今月の誕生者へ誕生祝いを差し上げます。後藤泰治会員11月23日、荒川義次私が11月4日が誕生日です。前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◇50周年記念事業委員会報告 - 吉野委員長

先程赤津会長のお話にもありましたが、先月10月27日に50周年記念事業前に彫刻モニュメント設置事業概要について市立美術館、教育委員会文化部へ正式に申し入れを行つて参りました。今回の50周年記念モニュメント設置事業はいわき市の彫刻のある街づくり事業という制度活用し行うものです。今後のスケジュール

ルは見積りが出ていますので審議委員会、市議会を1月に通り4月には着工となり6月の今年度中に完成を目指して段取り中です。

◎会員卓話 - 矢代 昭雄 会員



今日は雑誌広報委員会の活動としてロータリーの友の記事紹介をして会員の皆さんに読んで頂くという企画ですので宜しくお願いします。調べましたらロータリークラブの会員の一番大事な事は出席とロータリーの友の購読となっています。友の説明をしますと横組と反対側の縦組に分かれているのは皆さんもご承知だと思いますが、目次が裏と表と両方あります。今年度に入り7月号から発行されていますが7月号、8月号、9月号、10月号を見て気付くのが東日本大震災関連の記事が目立つことです。特に今回は財団月間ということで基金を使い被災地支援を行った報告が掲載されています。11月号横組17頁を見ると東日本震災復興基金日本委員会からの報告として寄付の総計が4,072,252ドル集まってその半分が利用されている記事が載っています。また各ロータリークラブから申請する期日や内容に対する説明も詳しく掲載されています。次の頁にはロータリー財団のプロジェクトに使用される東日本被害復興基金の内訳が出ており福島県だと南相馬市の相馬農業高校へ津波で家、家財をなくし、制服をそろえられない新入生に制服と実習服65人分を送った内容が載っています。次頁にもいわき桜ロータリークラブが行ったアクアマリンとボランティアセンターに対する支援記事といわき常磐ロータリークラブが湯本高校に吹奏楽の楽器を贈呈した記事その他いわき平ロータリークラブの記事も載っています。当クラブの事業は次号位に掲載されるのではないかと思います。

また25頁にはインターアクトについて学ぼうという記事が載っています。インターアクトはどうして出来たのか、どんなかたちで出来たのか現在はこんな活動を行っている等3頁に渡って掲載されています。それから31頁には鴨川青年の家の避難生活者に生活物資を支援の記事が載っていますが、これは鴨川ロータリークラブが東日本大震災で被災し、千葉県立鴨川青年の家に避難された福島県の障害者団体に対して、生活物資を支援したという内容です。いわきから避難している人達も多く、何かあれば我々もお返しをしなければという思いになりました。続く37頁には台風12号の記事、40頁に二神典子編集長の「寄付のあれこれ」、41頁にロータリアンのためのポリオ・プラスの「プラス」入門、そして49頁から2012年国際大会の記事が掲載されていますのでご一読下さい。

出席状況

正会員数 55名
本日の出席率 80.76%

本日出席会員数 42名
修正出席率 88.46%